



岩国医療センターだより

2025年3・4月号 VOL.158

ご自由にお持ちください。



放射線科：新規導入のリニアック

医師・技師・看護師

② 特集【放射線科だより】 放射線治療について

放射線技師より
放射線治療機器 TrueBeamのご紹介

④ 【看護部だより】 『入退院センター』のご紹介

⑤ 【栄養管理室だより】 食事管理で「サルコペニア」を 予防しましょう

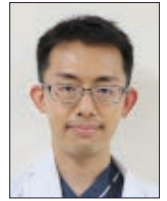
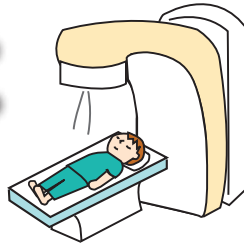
⑥ 【かかりつけ医のご紹介】 岩国おりた脳神経クリニック

⑦ インフォメーション 第4回 認定看護師の紹介

せ
ん
ご

特集

放射線治療について



放射線科医師
久住 研人

日本医学放射線学会 放射線治療専門医

放射線治療とは

放射線治療とは、医療用放射線を用いて、がんをはじめとする病気を治す治療法です。医療用放射線は、前号まで紹介してきたような病院の検査に広く用いられていますが、放射線をより強力にして病気の部位のみに集中して使用することで、治療に用いることも可能となります。

強い放射線は体の中の細胞を傷つけてしまう作用があるため、無秩序な放射線を浴びると体に様々な不調をきたしてしまいます。しかしがん細胞のような異常に増殖してしまう細胞は、正常な細胞よりも放射線の影響を受けやすいという特徴があるため、放射線の強さや範囲を制御することで、正常な細胞のダメージを抑えつつがん細胞だけに強いダメージを与えて、がんを治療することが可能となります。とはいえ、がんを完全に治療するための放射線の強さでは、病気の周囲の正常な細胞へのダメージをゼロにすることは難しいため、治療部位に応じた副作用への対策も同時に行っていきます。

岩国医療センターで行う放射線治療

放射線治療には様々な種類の機械や手法がありますが、当院で行っている放射線治療は「リニアック」という機械を用いて体の外から放射線（エックス線、電子線）



【図1：リニアック：Varian社製 True Beam】

をあてる治療法です。基本的に1日1回で月曜～金曜に毎日行う治療です。治療で行うことは台の上で寝ていただくだけで、寝ている間に体の周りをリニアックがゆっくりと動き、病気に放射線をあてていきます。治療時間や必要な治療回数は病気の種類や病状、目指すべき目標（がんをゼロにすることを目指すか、痛みなどの症状の改善を目指すか）によって様々な使い分けしており、1回あたりの治療時間は10分～30分程度、治療回数は短ければ1回、長ければ40回近い治療が必要になることもあります。治療を行っている最中に痛み等はなく、副作用が生じる場合は、数日～数週間をかけてゆっくりみられることが多いです。

また副作用は治療が全て終われば徐々に改善しますが、治療終了後も長引きやすいものや、終了後になってから出てきやすいものもあります。治療前には必ず治療内容や副作用について十分に説明させていただいて、治療を希望するかどうかを確認させていただいております。

脳の定位放射線治療について

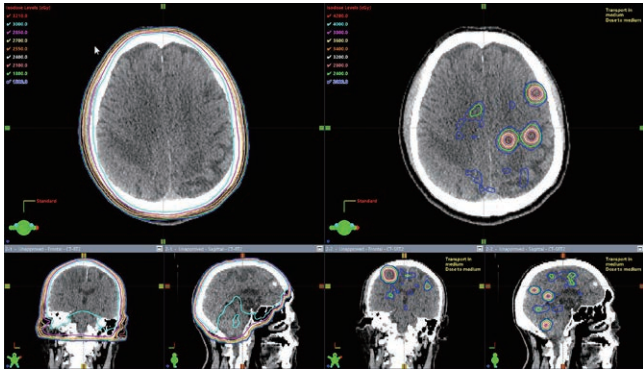
当院では今年度リニアック装置を更新し（図1）、今までと比べより高精度の治療を行うことができるようになりました。代表的なものとして、「脳の病気に対する定位放射線治療」を新たに開始いたします。

脳はがんが転移しやすい臓器のひとつです。臓器によっては転移ができて症状は何もでないこともありますが、脳にできた転移は体の麻痺や感覚異常といった強い症状の原因となるため、すみやかな治療が求められます。一方で脳への手術は負担が大きく、また抗がん剤では十分な効果が望めない場合も多く、放射線治療が大きな役割を担っています。

脳転移への放射線治療法は、脳全体へ治療を行う「全脳照射」と転移の部分だけを治療する「定位照射」の大き

く2種類に分けられます(図2)。

全脳照射は定位照射と比べ認知機能低下などの副作用のリスクが高まるため、転移の数が少ない場合はなるべく定位照射が望ましいです。ただ定位照射を行うには数mm～数cmの範囲でピンポイント照射を行うことのできる高精度な装置が必要となるため、今まで当院では行うことができず広島など遠方への通院をお願いしておりました。状態の悪い患者さんも多いなか大きな負担となっておりましたが、今後は当院であらゆる脳転移に対応できるようになり、憂いなく最適な治療を選んでいただけるようになります。



【図2_全脳照射と定位照射：左が全脳照射で、脳全体に一定量の放射線をあてています。右が定位照射で、病変部にのみ放射線を集めています】



【頭部シェル：治療精度を保つため、専用の固定器具を使用します】

治療法の選択について

当院で可能な治療の幅は大きく広がりましたが、今後も当院では行うことの難しい放射線治療(IMRT、腔内照射、粒子線治療など)はあり、病気によってはそれらが勧められる場合もあります。患者さんごとにどのような放射線治療が勧められるかは常に検討しており、他院への紹介が望ましいと判断した場合には、その都度説明させていただきます。

メリットデメリットをご理解いただいたうえで、患者さんそれぞれにとって最もよい治療を一緒に考えていければと思います。



今月号表紙でもリニアックを紹介しています。

放射線技師より

「放射線治療機器 TrueBeam のご紹介」

～新しく入った放射線治療機器 TrueBeam の“部屋”について～

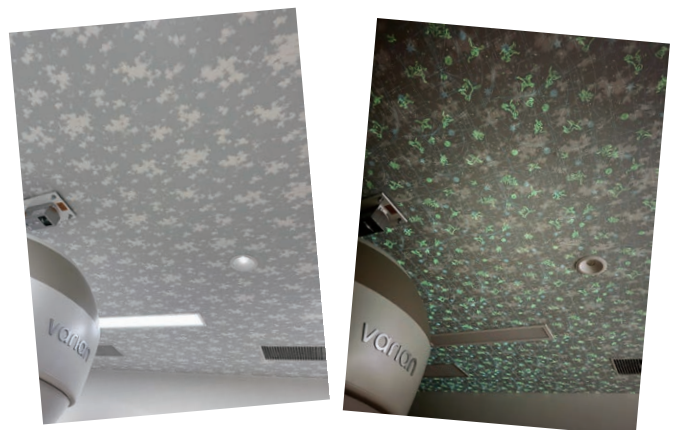
この度岩国医療センターに導入されました放射線治療機器 TrueBeam (Varian 社)が入ったお部屋をご紹介します。

壁紙は以前より白い壁紙とし、床は液体がこぼれても安心な耐水性のある木目調の柔らかな印象の床となっております。治療室のみんなで決めたこだわりの天井は蓄光できる仕様となっており、暗くすると星座が現れます。放射線治療室で天井を見上げた際は是非自分の星座を探してみてください。“治療中は動かないでね”。

より良い治療を完遂できるよう放射線治療室では笑顔をやさず患者さんに寄り添う治療を提供していきたいと思しますので、よろしくお願いいたします。



放射線科照射主任 伊瀬 尋貴





「入退院センター」 のご紹介



総合入退院センター部
入退院センター看護師長 岡田 寛子

入退院センターの役割



入院決定した患者やご家族に対し、入院に関する説明を実施するとともに入院前に面談を行い、服薬している薬や食事のことなどを確認、薬剤師や管理栄養士・医療ソーシャルワーカーなどの多職種と連携し、退院後を見据えた入院生活のご案内をさせていただきます。

入退院センター看護師の役割

入院が決定したら、入退院センター看護師が患者さんやご家族と面談を行います。

入院後の治療過程や入院生活をイメージでき、安心して入院生活を送ることができるように、入院パンフレット等を使用し「入院当日の流れ」「入院手続きに必要な書類」「入院に必要な物品」「入院中の生活」「入院費用に関すること」などについて説明を行います。

また、患者さんやご家族の身体的・社会的・心理的問題を把握して治療が終わって退院する際に何か困ることはないかを入院前から判断し、必要に応じて当院のそれぞれの専門職者によるサポートが受けられるように「今までの病気のことや服用している薬、家での生活状況など」を確認させていただきます。



連携の実例

管理栄養士との連携

食物アレルギーがある患者さんや嘔むことや飲み込み不安がある患者さんには、管理栄養士と相談してアレルギー対応の食事や患者さんが食べやすい形態に合わせた食事が提供できるように調整します。

薬剤師との連携

患者さんやご家族には入院説明をする際にお薬手帳を持参して頂き、医師や薬剤師と情報共有して安心・安全にお薬を飲むことができるようにしています。手術や検査のために入院前に使用を中止する薬がある患者さんやご自宅に使用していないお薬がたくさんある患者さんには、いつもお薬をもらっている薬局（かかり

つけ薬局）に持って行ってもらい、現在使用しているお薬の「整理」をしてもらうようにおすすめしています。

医療ソーシャルワーカーとの連携

退院後に医療介護サービスの利用が必要な患者さん、介護保険未申請で今後何らかのサービスが必要だと思われる患者さん、また、他病院や施設から入院される患者さんには早期に医療ソーシャルワーカーと情報共有し、入院前から退院に向けた支援を開始します。

歯科受診のご案内

口の中には多くの細菌が生息しています。普段は悪さをしていない細菌も、治療を行うことで一時的に全身の抵抗力が弱まった時に、肺炎や口の傷口からの感染など、さまざまな症状を引き起こすことがあります。また、治療後にう歯（虫歯）が見つかったも、治療の影響で歯科処置ができない場合があります。そのため、治療を受ける前に口の中の環境を整え、口腔内の細菌を少しでも減少させて、治療後のトラブルを予防するために歯科受診をおすすめしています。

当院ではかかりつけ歯科への紹介状を作成し、入退院センターで歯科受診の予約をさせていただきます。

私たちはこれからも患者さんやご家族一人一人に合わせた分かりやすい丁寧な入院説明を心がけていきます。

面談後にご自宅に帰られた後にわからない事がある場合は、お電話でも対応しておりますので、お気軽に入退院センターにお尋ねください。

お問い合わせ先

入退院センター：0827-34-1000（病院代表番号）
患者氏名・診察券の患者番号・生年月日をお尋ねします



食事管理で「サルコペニア」を予防しましょう

栄養管理室 小山 望 藤田 真奈

最近こんなことはありませんか？

①ペットボトルを開けるのが難しいと感じる

未開封のペットボトルの蓋は
15kg 程度の握力が必要です。



②青信号の間に横断歩道を渡りきる
のが難しい

歩行速度が 0.8m/s 未満だと
渡りきるのが難しくなります。



心あたりのある方、
それ“サルコペニア”かもしれません。

サルコペニアとはギリシャ語の「sarx：筋肉」と「penia：損失・減少」を組み合わせた造語で、「骨格筋量の減少に加えて、身体機能の低下あるいは筋力低下のいずれかを伴う現象」と定義される言葉です。加齢が最も重要な要因ですが、疾患や活動不足、栄養不良が危険因子としてあげられます。サルコペニアでは転倒や骨折のリスクが高くなります。

サルコペニアの予防のために大切なことは？

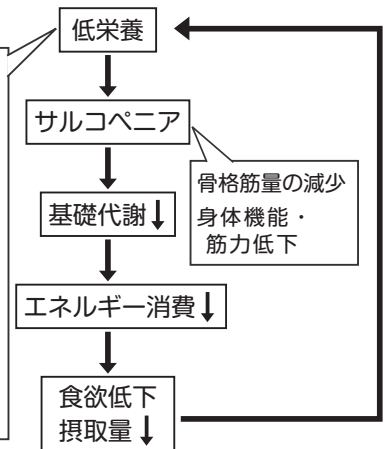
サルコペニアの予防には低栄養（必要栄養量の不足）の予防、運動や活動的な生活をするのが重要です。食事では、特にたんぱく質をしっかりと摂取し、栄養状態を良好に維持することが大切です。低栄養に陥ると右図のような悪循環を引き起こす恐れがあります。この悪循環を断ち切るためにも、食事療法（高エネルギー、高たんぱく質食）を実践してみたいかがでしょうか。



★予防・対策を！

⇒当院では低栄養の方も対象とし栄養指導を行っています。

- 1回の食事でたくさん食べられない時は間食で補う（少量頻回食）
- 少量で栄養価の高い食品の摂取
- 普段の食事にたんぱく質、ビタミン、ミネラル等 ちょい足しの工夫



混ぜるだけ！ 超お手軽！

3種類の手作りドレッシング



高カロリー・高タンパク質サラダ

トッピング(例) …ゆで卵1個
エネルギー 83kcal
たんぱく質 6.8g

トッピング(例) …サラダチキン50g
エネルギー 57kcal
たんぱく質 12.0g

サルコペニアの予防には食事バランスが重要であり、十分なエネルギーやたんぱく質摂取が欠かせません。そのため、サラダを食べる際にも鶏肉やゆで卵、豆類などのたんぱく質食材をちょい足しして意識的に摂取するのも良いでしょう。

また、市販のドレッシングは低カロリー、低たんぱく質なものが多いです。手作りすることでカロリーやたんぱく質を増やすことができます。今回は手軽に作れるドレッシング3種類を紹介します。是非、参考にしてみてください。

きな粉やすりごま、かつお節はたんぱく質含有量が比較的多い食材ですので、いろいろな料理に加えてみるのも良いでしょう。

※作り方はいずれも材料をよく混ぜ合わせる

きな粉の和風ドレッシング(左)

○材料 / 2人分
 ・きな粉…10g ・濃口醤油…3g エネルギー 121kcal
 ・砂糖 …… 5g ・ごま油…5g たんぱく質 4.4g
 ・穀物酢… 6g ・豆乳 …… 15g 脂質 7.9g
 炭水化物 8.7g
 食塩相当量 0.4g

わさびをいれてさらに美味しく！

ゴマ香るシーザードレッシング(中央)

○材料 / 2人分
 ・マヨネーズ…10g ・にんにく…2g エネルギー 172kcal
 ・レモン果汁… 5g ・黒胡椒 …少々 たんぱく質 5.5g
 ・すりごま… 8g ・牛乳 ……30g 脂質 14.9g
 ・粉チーズ… 6g 炭水化物 4.7g
 食塩相当量 0.5g

豚しゃぶなどにもぴったり！

しらすと梅のドレッシング(右)

○材料 / 2人分
 ・梅肉…7g ・かつお節…1g エネルギー 196kcal
 ・砂糖…5g ・穀物酢… 15g たんぱく質 4.3g
 ・オリーブ油…6g ・しらす… 15g 脂質 15.3g
 炭水化物 8.7g
 食塩相当量 1.2g

豆腐に大葉をのせてかけても美味しい！

岩国おりた脳神経クリニック



院長 織田 祥至
(おりた ようじ)



趣味 城巡り(娘に感化され)
特技 剣道(かつてはですが…)
一言 脳神経外科、救急科、当直の先生方など急患対応を含めいつも迅速丁寧に対応していただき感謝しております。今後とも宜しくお願い申し上げます。

医院の特徴

2019年12月に今津町1丁目で開院しました。中学高校大学と広島ですが、生まれも育ちも山口県内であり、この地で地域医療に貢献しようと決意しました。

これまでは主に広島県内の総合病院で、脳神経外科医として脳卒中診療を中心とした急性期医療に携わってきました。中でもカテーテルを用いた脳血管内治療を専門とし、脳動脈瘤の塞栓術や頸動脈狭窄症に対するステント留置術などを行ってきました。

その経験を生かし脳神経外科専門医として脳卒中の予防や早期発見・早期治療を行うだけでなく、頭痛やめまい・もの忘れ・頭部外傷など脳神経内科の領域を含め脳に関わるあらゆる疾患に対し、地域に密着したかかりつけ医としての役割を果たせるように努めています。



CT



MRI

対応可能な検査

MRI (1.5T)、CT (16列)、
心電図、血液検査

診療で大切にしていること

患者さんの話をよく聴き、また言外から発する雰囲気より察知し、ご家族からも情報収集して、問題点を理解し、一人一人丁寧に説明して適切に治療を行い、不安を解消できるように努めています。

片頭痛や認知症など近年新しい治療法が確立されてきており、現状に満足することなく日々勉強の精神で自分をアップデートしていきたいと思えます。

所在地 〒740-0017
山口県岩国市今津町 1-9-26
電話 0827-28-6767 **FAX** 0827-28-6769
HPアドレス <https://iwakuniorita-noucl.com/>
診療科目 脳神経外科、脳神経内科
休診日 水曜 / 土曜午後・日曜日・祝祭日

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
14:00~18:00	○	○	×	○	○	×

※受付時間は、午前が 9:00 ~ 11:30、
午後が 14:00 ~ 17:30 です。



岩国おりた
脳神経クリニック



新任医師の紹介 *New doctors*

令和7年1月に着任した医師を紹介します。

- ①趣味・特技 ②自己PR・メッセージ



消化器内科医師

松村 吉晃 (まつむら よしあき)
専門領域：消化器内科

- ① 旅行、音楽鑑賞

- ② 初めての山口県での赴任となります。ご迷惑をおかけするとは思いますが、良質な医療の提供を心がけるよう頑張ります。

『正月の花』

2階正面玄関入口に、「池坊」さんにてお正月の花を飾っていただきました。新年から華やかな雰囲気を楽しませていただきました。いつもありがとうございます。



『ほっとサロン虹』のご案内

がん患者さんやご家族の皆様が病気や暮らしなど気になること、相談したいことなど、お話ができる場です。事前申込み不要ですので、お気軽にご参加ください。(地域医療連携室)

開催日	テーマ	講師
3月21日	がん哲学	哲学相談おんころ代表理事

対象：がん患者さんご家族
(院外の方も参加できます)

場所：2階患者図書室

開催日時：毎月第3金曜日(8月を除く)
14:00～15:00



第4回 認定看護師の紹介

今回は、クリティカルケア認定看護師を紹介します。

クリティカルケア認定看護師
ICU 副看護師長 吉村 一徳

趣味は
ランニング



認定看護師になったきっかけ

私は看護師5年目で集中治療室に配属になりました。集中治療室や救急の現場で、命の危機がある患者さんを助けるために、もっと専門的な知識や技術を身につけたいと思い認定看護師を目指しました。

現在の仕事について

クリティカルケア認定看護師は、生命の危機に直面した患者さんに対して、専門的な知識と技術を活かして、質の高い看護を提供する看護師のことを指します。私たちは呼吸が苦しい人や複数の臓器がうまく働かなくなっている患者さんの状態を見極めながら、医師と協力して必要な

治療・看護を行っています。また、手術を受けたばかりで体力が低下している患者さんには、リハビリテーション科と協働しながら、早く元の生活に戻れるようにしっかりとサポートしています。さらに、血圧が急に下がったり、呼吸ができなくなったりするような緊急事態には、命を救うための救命救急処置を迅速に行っています。

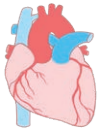
私は現在集中治療室で勤務していますが、重症な患者さんは集中治療室だけでなく、一般病棟にも入院されています。そのような患者さんの重症化や合併症を防ぎ、早期回復を促せるように、病棟と連携しながらクリティカルケア認定看護師としての活動の幅を広げていきたいと考えています。



集中治療室にて



ランニングが趣味で、フルマラソンでサブ3.5(3時間30分以内)を目標にしています。練習計画を立て、日々の努力で自己記録更新を目指しています。



2024年度 第1回 市民公開講座

循環器内科 『心臓病について知ろう』 ～心不全・心筋梗塞・不整脈～



2024年12月14日(土)10時30分より、当院研修センターにて市民公開講座を開催しました。

はじめに、当院循環器内科 片山祐介診療部長より講座長あいさつがありました。

第一部は「心不全」について…検査と治療、日常生活の心がけなどのお話を越智正彦医師より、第二部は「心筋梗塞について」…どんな病気で命を守るには、などのお話を平原知晃医師より、第三部は「不整脈について」…心房細動やその新しい治療など、を今村繭子医師よりお話がありました。医師の話の後には「なんでも質問コーナー」を設け、参加者の方が熱心な質問をされていました。

今回の講座には120名の市民の皆さまが参加され、興味深く聞いておられました。



いづみ保育園クリスマス会

2024年12月19日(木)、いづみ保育園にてクリスマス会が行われました。



園児たちが楽しみに待っていたサンタクロースさん

がトナカイさんと一緒に来てくれました。一人ひとりプレゼントをもらい、お礼にみんなで歌を歌いました。去年はビックリして泣いた子も今年は泣かずにがんばったね！

